

みんなでつくる
夢あるすその

高村けんじ

後援会だより

発行: 高村けんじ後援会
発行責任者: 勝又重則
TEL: 055-993-0544
FAX: 055-993-0542
裾野市久根332-1



第5次裾野市総合計画を策定しました

～第5次裾野市総合計画 基本構想で目指すべき都市像～
みんなが誇る豊かな田園未来都市すその

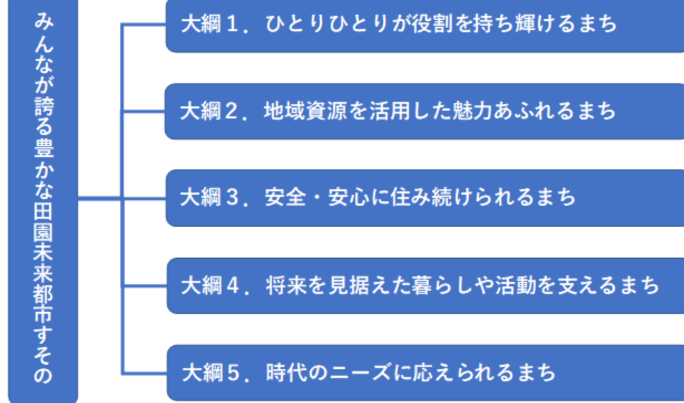
裾野市の最上位計画である「裾野市第5次総合計画（令和3年から10年間）」を策定しました。

目指すべきまちの将来像は、市長就任時の公約「みんなが誇る“豊かな裾野”をつくる」に、世界中を驚かせたトヨタ自動車のウーブン・シティ構想^(*)と連携しながら市独自のSDCC構想^(*)が目指す「田園未来都市」を加味したものとなりました。

企業や研究機関の技術や資金などの民間活力が裾野市域で展開され、デジタルやロボットが暮らしを支える、未来のまちづくりがいよいよ本格的に始まります。豊かな自然や温かい人間性など、地域の魅力を最大限に活かして、アフターコロナの時代にふさわしい、裾野市ならではのライフスタイルを世界に向けて発信してまいります。

【まちの将来像】

【施策の大綱】



「第5次総合計画のまちの将来像と施策の大綱」

2期目の公約の進捗状況と今後の展望について

皆様にお約束した公約のほとんどは着手済で、すでに達成済みのものもあります。

今号では進捗状況とこれからの展望について次ページ以降で報告いたします。

- (*)1) ウーブン・シティとはトヨタ自動車が裾野市に建設を予定している未来技術の実証都市。歩道や自動運転用の道など機能別の3本の道路からなる街なみを織物（糸）に見立てた表現。（Woven City＝編まれた街）
- (*)2) SDCC構想（スリ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想）とは、超スマート社会（デジタル技術を活用して豊かな生活を創造する社会）の到来を見据え、クリエイティブ・マインドを持った市民や企業とともに、デジタル技術やデータを利活用することによって地域課題の解決を目指そうという、裾野市が独自に策定した構想。

公約のスローガン 「みんなが誇る“豊かな裾野”をつくる」

1 まちづくり

2 しごとづくり

3 ひとづくり

進捗状況

市民の皆さんにも、シビックプライド(まちへの愛着や誇り)を持って、まちづくりに参画していただくためには、まずは「裾野といえば、〇〇」とみんなが自信や愛着をもって言えるものが必要と考え、市長就任以来、その〇〇を追い求めてきました。

富士山や豊かな自然のように昔からあったものに加えて、令和2年1月に世界中が注目するトヨタ自動車のウーブン・シティ構想のフィールドに選ばれたことで、新しいシビックプライドの種を手に入れることができました。

今後の展望

構想発表のインパクトは、市の知名度を飛躍的に上げただけでなく、裾野市政にも大きな転換を迫っており、ウーブン・シティと連携しながら、大胆にまちをデザインし直すためのチャンスを手に入れたと言っても過言ではありません。豊かな自然(田園)とデジタル技術(未来)が^{うらわ}令しく調和する、田園未来都市づくりを進めることで、「みんなの誇り」が「豊かな裾野」につながるよう取り組んでまいります。

公約の3本柱とSDCC構想(9つの取り組み)との関連



1 まちづくり

(1) 地域の歴史・文化

- ・コミュニティを生かしたコンパクト＋ネットワークのまちづくり

1) 岩波駅と裾野駅周辺の計画的な整備

進捗状況（岩波駅）

岩波駅上り線ホームの新設とエレベータ設置（バリアフリー化）などの工事は、令和2年11月末に完了し、駅および駅周辺の安全性・利便性が向上しました。



岩波駅エレベータ入口周辺の状況

進捗状況（裾野駅）

裾野駅前ロータリーは令和2年度内に完成・供用開始の予定で整備が進んでいます。



裾野駅前ロータリー周辺の状況

進捗状況（桃園平松線）

部分開通した桃園平松線（スルガ銀行南側）沿線には市民要望の多い公園（駅西公園）も整備されます。目に見えて工事が進捗してきました。



道路新設工事の状況

今後の展望

SDCC構想関連No. ①

ウーブン・シティ周辺整備と地域との融合

ウーブン・シティの玄関口となる岩波駅周辺整備は、SDCC構想でも最重要の課題です。岩波地区整備計画研究会（H14）や深良地域まちづくりグランドデザイン（H32）等のアイディアを参考に「市北部地域まちづくり基本構想」を策定し、民間活力を積極的に導入しながら具体的な取り組みに着手します。



岩波駅周辺の整備イメージ図（H14資料から）

2) 拠点間を結ぶ公共交通網の整備

進捗状況

コンパクトシティ＋ネットワークの指針となる地域公共交通網形成計画を策定し、地域の皆さんと共に、地域の実情に合わせた公共交通の在り方を検討するためのガイドライン（考え方）をマニュアルとして策定しました。

今後の展望

SDCC構想関連No. ③

誰もが移動しやすい交通環境の整備

地域の皆さんとともにデマンドタクシー^{(*)3}やボランティア運送^{(*)4}の導入を検討したり、SDCC参画企業の皆さんとともに未来技術による新しいモビリティ（人の移動手段）の可能性を研究していきます。

(2) 民間活力と連携した住宅供給の促進（定住・移住の受け皿づくり）

市街化調整区域の土地利用（線引きの見直し）

進捗状況

御宿新田の市街化調整区域を、職住近接の防災スマートシティとするため、住居系の市街化区域に編入（いわゆる線引きの見直し）しました。民間企業による区画整理事業が総合グランド北側で始まり、一部区画の販売も開始されました。

今後の展望

SDCC構想関連No. ①&④

ウーブン・シティ周辺整備と地域との融合

令和3年には98区画の住宅と商業施設、緑地を備えた職住近接の防災スマートシティが創出されます。

今回の開発で得られたノウハウを、市内の他地区（例：深良地区のまちづくり構想など）にも展開し、住みたい・住み続けたい希望に応えます。



民間活力による住宅地の創出（完成イメージ）

(*)3) デマンドタクシーとは乗り合いタクシーの意味でバスの様な定期運航はしないが予約により運行することでコストを押さえながら公共交通の代替え手段とするものです。

(*)4) ボランティア運送とは地域で運行するボランティアによる無償運送のことです。乗客から直接運賃を収受できない、課題として車両や運転手の確保、事故時の対応などの合意形成が必要となる

2 しごとづくり

(1) 裾野ならではの 特色ある新産業の育成

1) 準高地トレーニング合宿の誘致

進捗状況

水が塚公園に練習環境を整え、裾野市スポーツツーリズム推進協議会による合宿誘致に力を入れています。準高地トレーニングと言えば“裾野市”となりつつあります。



水が塚公園のコース案内図

今後の展望

SDCC構想関連No. ⑧

富士山麓の場の力を活用したツーリズム

梅の里公園にもトレーニングコースを整備し、利用者拡大に努めます。スポーツツーリズムを裾野市の新しい産業に育てます。

(2) 企業立地維持 と新規企業誘致の用地確保

進捗状況

<ウーブンシティ構想への対応>

ウーブン・シティ構想の前提であった、トヨタ自動車東日本（株）東富士工場移転後の土地利用の相談に適切に対応し、工業専用地域から準工業地域への用途変更を実現しました。自由度の高い研究・実験施設が建設できる環境を整えたことで、裾野市に未来技術の実証都市が造られるという構想が実現しました。

<企業立地維持と新規誘致>

ウーブン・シティ構想への関心と裾野市の地理的優位性から、企業からの進出希望などの相談が増えました。

今後の展望

SDCC構想関連No. ②

高付加価値の産業育成・雇用

<ウーブン・シティ構想関連>

ウーブン・シティは常に最先端技術の実験場をめざす「未完成のまち」です。現時点では想像がつかないような新しい企業ニーズが出てきても、スピード感を持って適切に対応していきます。

<企業誘致>

企業誘致と雇用確保につなげるため、用地の確保に取り組んでいきます。

- ・静岡県と連携して須山地区（いわゆるB地区）の用地調査に着手します。
- ・市内のまとまった面積の用地調査（結果は公開済）に基づいて、企業への売り込み・相談を積極的に展開していきます。

2) 薄層屋上緑化（FSGシステム）の販路拡大

進捗状況

技術開発は完了し、東京駅日本橋口付近にPR展示しています。景ヶ島付近の街路樹の樹種転換にも利用されています。



日本橋付近の展示風景

今後の展望

SDCC構想関連No. ⑦

持続可能で稼げる農林業の推進

都会のヒートアイランド現象の解決など、地球温暖化対策にも貢献できる技術として販路拡大に取り組みます。

3) スーパーフード キヌア^(*)の特産化

進捗状況

栄養価が高く、母なる穀物として有名なスーパーフード「キヌア」を戦略作物に指定し、須山農事組合や静岡大学とともに栽培技術の改良に取り組んでいます。二年目を迎え収量も増加しています。

今後の展望

SDCC構想関連No. ⑦

持続可能で稼げる農林業の推進

さらなる増産をめざすとともに、キヌアを使ったアスリート向け食事メニューを開発するなど、おいしく食べて強くなれる、選ばれる合宿地を目指していきます。



キヌアの脱穀作業風景

(*) スーパーフード キヌアとは南米アンデス山脈の高地が主生産地の穀物（ヒエやアワなどと同様の雑穀類）

3 ひとづくり

(1)誰もがいきいき健やかに
成長・暮らせるまちづくり

◎ひとづくりの中でも特にSDCCと
関係することについて掲載します。

学校教育環境の充実

進捗状況

小・中学校に**エアコン**を
設置し、快適な学習環境を
整えました。



教室内エアコン設置状況

今後の展望

SDCC構想関連No. ⑤

グローバル人材育成・ICT環境整備

令和3年度からは1人1台
ずつ**LTE回線（高速通信サー
ビス）対応タブレット**が配備
されます。猛暑対策と災害時
でも自宅で**リモート学習**でき
る環境が整います。



リモート学習イメージ

将来の裾野を担う人材育成について

生涯学習と市民協働のまちづくりの推進

進捗状況

学校教育だけでなく、誰もが生涯にわたって学習し続けられる環境整備が重要
と考え、市政をテーマとした「みらい会議」を開催。当事者意識を持ってまちづくりに参画し
ようとする市民の皆さんとともに市民協働のまちづくりを推進しています。

今後の展望

学校を子供の教育施設としてだけでなく、まちづくりの拠点として重視する教育大綱（R3～）を策定しました。「コミュニティスクール」制度など、学校が子供から高齢者
までの教育・学習の拠点、まちづくりの核となるよう、地域と学校の交流を進めていきます。

(2)いつまでも元気に
生きがいを持った暮らしを
応援する地域づくり

健康・医療の充実推進

進捗状況

健康長寿のためには適度の運動や社会参加
は欠かせません。コロナ対策しながら、社会
福祉協議会や地区の皆さんと力を合わせて寄
り道ウォーキングや地域サロンを実施してい
ます。コロナ禍ですが、楽しみながら健康を
管理しましょう。

今後の展望

SDCC構想関連No. ⑥

超高齢社会に対応した健康・医療の推進

自宅にしながら遠隔
で診療が受けられるリ
モート医療や、膨大な
ヘルスケアに関するデー
タをAI（人工知能）に
よって分析し、健康寿
命の延伸施策にいかし
ていきます。



寄り道ウォーキング（市主催）

ウーブン・シティいよいよ着工

～鉄入れ式に参列して～

2月23日（天皇誕生日・富士山の日）に地鎮祭が
行われ、来賓として参列しました。

豊田章男社長はあいさつで、裾野市に対する構想実現
に向けての協力・支援に対して感謝の意を表されました。

企業が思い描く自由な研究・実験ができる環境を整えた甲斐があったと感じました。

私からは、プロジェクトリーダーであるジェームス・カフナー氏に対して、「ここからが本当
のスタート。今は想像もつかない課題が出てきても引き続きしっかりとサポートさせていただ
く」と伝えました。

当日の様子は、トヨタ自動車の公式プレスリリース（QRコード）をご覧ください。



鉄入れ式の様子



QRコード

<勝又後援会長からの応援メッセージ>



高村けんじ後援会のみなさん、お変わりございませんか。昨年来の新型コロナウイルスの蔓延で、例年行われて来た後援会の親睦行事も実行できませんでしたが、会報編集委員の皆さんのご尽力で、唯一会報だけは途切れずに続いており、後援会に何とか風を送っております。

現在、世界的な社会改革のテーマとして、デジタル化社会、脱炭素化社会の構築が叫ばれ、我が国でも政府が実行目標を掲げて組織的に動き始めています。これらは今世紀前半に於ける社会改革の一大テーマであり、乗り遅れた国は落ちこぼれてしまいます。

この2月23日に起工式が行われたトヨタのウーブン・シティが注目を集めています。我々はこの試みに触発されて、独自のデジタル化社会の構築を目指さねばなりません。

高村市政は、社会の大きな転換点の中にあり、これらをどう実現していくか実行計画を持って対処していかなければならないでしょう。

第2期高村市政も残り1年弱となりました。来年早々には選挙が行なわれます。我々後援会員は、この大きな変革の時代を高村市長と一緒に乗り越えて行きたいですね。

最後に皆さんの益々のご健勝を祈り、これからも絶大なるご支援をお願いして、応援メッセージと致します。

財政非常事態宣言発表の経緯

2期目の市長就任直後の平成30年、裾野市の財政収支がリーマンショック以降10年間、毎年赤字で、貯金（財政調整基金）を取り崩して運営していることに危機感を感じ、収支を均衡させるべく「行財政構造改革」の取り組みに着手しました。令和元年からの3年間で6.5億円の収支の見直しを行うことで、令和4年度以降は赤字を解消し、約40億円の貯金が確保できる計画でした。しかしコロナの影響などにより、来年度は約10億円税収減となる予期せぬ事態となり、更なる対策の必要性が出てきました。第一弾の行財政構造改革の期間中であり大変に心苦しいのですが、世界がコロナの影響から抜け出すまでの間、ウーブン・シティなどの裾野市を取り巻く新しいプロジェクトが明るい恩恵をもたらすまでの間、市民の皆様の一層のご理解ご協力をお願いいたします。各地区におもむいての説明の機会をいただき、明るい話題も暗い話題も皆さんと共有したいと考えております。

編集後記

○高村市政も2期目に入って3年が経過しました。ここで、立候補時の公約がどうなっているのか、トヨタのウーブン・シティ構想やSDCC構想、第5次総合計画などとの関係を高村市長に整理していただきました。トヨタのウーブン・シティ構想の誘致や長年にわたる悲願であった市街化調整区域の土地利用（線引き見直し）など、大きな仕事をやって来ています。

○勝又会長のメッセージにありますように、裾野市は今、転換期にあります。高村市長が取り組んでいるSDCC構想や第5次総合計画を実現していくことが大事だと思います。ご声援をよろしくお願いいたします。

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策も、ワクチン接種が具体的に動き始めました。効果を期待して、積極的に接種を受けましょう。また、今後も“感染しない、感染させない”ために「新しい生活様式」の徹底をお願いします。

<裾野市および市長の部屋の紹介>

市長の部屋は必見ですよ！

<検索方法>

スマホまたはパソコンで【すそのし】と入力すると以下の画面が表示されます。



皆さんの声欄

ご意見お待ちしております。

「高村けんじ後援会だより」または、将来のまちづくりに関するご意見・ご感想をお寄せください。

<高村けんじ後援会事務所>

住所：〒410-1111 裾野市久根332-1
TEL：055-993-0544
FAX：055-993-0542
メール：kouenkaï@powerline.co.jp